



令和7年6月25日

各位

会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 秋山 昌之
(東証スタンダード・コード番号 2796)
問合せ先 取締役 沼田 豊
(TEL. 03—3362—7130)

令和7年5月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

令和6年12月25日に公表いたしました令和7年5月期通期連結業績予想について、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異について

令和7年5月期通期連結業績予想との差異（令和6年6月1日～令和7年5月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純損失 (△) (百万円)	1株当たり 当期純損失 (△) (円)
前回発表予想 (A)	64,734	350	143	△214	△18.98
実績値 (B)	63,508	293	136	△367	△32.48
増減額 (B－A)	△1,226	△56	△6	△152	—
増減率 (%)	△1.9	△16.0	△4.6	—	—
(ご参考)前期実績 (令和6年5月期)	54,466	916	833	△351	△33.41

2. 差異の理由

旧寛一商店グループから譲り受けた店舗等を運営するnext PH株式会社が想定を上回って堅調に推移したことを主な要因として、調剤薬局事業全体では計画を上回ることができました。一方で、物販事業においてはドラッグストア部門の商品原価率が上昇したこと、またその他のセグメントにおいて訪問看護事業、人材派遣及び有料職業紹介事業並びに医療向けシステムインテグレーション事業が軟調に推移したことから、営業利益は56百万円の計画未達となりました。また、金融費用等の営業外費用が想定以上に抑制できたことにより経常利益段階ではほぼ計画どおりの水準となりました。そして、次期以降の利益を回復させるため、積極的に不採算店舗の閉店を決定いたしました。これにより生じた固定資産の減損及び一部のれんの減損により特別損失が増加し、親会社株主に帰属する当期純利益（損失）は予想を下回りました。

以上